関東労災病院 令和 8 年度初期臨床研修医採用試験 筆記試験問題・解答用紙

受験番号		氏名	

第 1 問

ヒトの腎臓は、1 日に約 180 L の原尿を濾過し、その 99%以上を再吸収する。なぜこのような一見非効率なことをしているのか。もしあなたが人間の腎臓を一から設計するとしたら、この仕組みを採用するか。それとも別の仕組みを考えるか。その理由を、生理学的観点から記述しなさい。

関東労災病院 令和 8 年度初期臨床研修医採用試験 筆記試験問題・解答用紙

受験番号		氏名	

第 2 問

ヒトの血液は大体何分程度で体内を一巡りしますか。どのように考えたか、推論を記述しなさい。

関東労災病院 令和 8 年度初期臨床研修医採用試験 筆記試験問題・解答用紙

受験番号		氏名	

第 3 問

現病歴：73 歳の男性。2 日前から悪寒を伴う 38℃台の発熱と食欲低下があった。市販の解熱鎮痛薬を服用して自宅で様子をみていたが、本日朝から上腹部痛が出現した。夕方になり、家族が「いつもより反応が鈍く、話がかみ合わない」ことに気づいたため救急搬送された。
既往歴：2 型糖尿病、高血圧症。5 年前に健診で胆石を指摘されたことがある。
身体所見：呼びかけに開眼し会話は可能であるが、日時を正確に答えられない。
体温 39.1℃、血圧 82/48 mmHg、脈拍 118/分・整、呼吸数 28/分、SpO_2 95%（室内気）。 眼球結膜に軽度の黄染を認める。腹部は平坦・軟で、心窩部から右上腹部に圧痛を認める。反跳痛および筋性防御は認めない。
血液検査所見：WBC 18,900/ μ L, CRP 22.4 mg/dL, T-Bil 5.2 mg/dL,
D-Bil 3.9 mg/dL, AST 128 U/L, ALT 156 U/L, ALP 612 U/L, γ -GTP 318 U/L,
BUN 28 mg/dL, Cr 1.3 mg/dL, 血中乳酸値 4.5 mmol/L
腹部超音波検査：肝内胆管および総胆管の拡張を認め、総胆管径は 12 mm であった。胆嚢内に結石を複数認めたが、総胆管下部は十分に描出できなかった。

① 本症例で最も考えられる疾患名を記述しなさい。また、その診断根拠を、臨床所見、血液検査所見、画像所見に分けて記述しなさい。
② 本症例について、生命予後の観点から特に重要な重症所見を 3 つ挙げなさい。また、それぞれの所見がどのような病態を示唆するかを簡潔に記述しなさい。
③ 本症例に対して、救急外来で直ちに行うべき初期対応・治療を、優先順位および同時並行して行うべき事項を記述しなさい。
④ 本症例において、全身管理および薬物治療に加えて必要となる治療・処置の名称を記述しなさい。
⑤ 患者の家族から、「薬を使って治療しているのに、ほかの処置も必要なのですか」と質問された。現在の患者の状態、なぜその処置を行う必要があるのか、その処置の目的と緊急性について、実際に説明するつもりで記述しなさい。

＜解答は右欄に記載してください＞

関東労災病院 令和 8 年度初期臨床研修医採用試験 筆記試験問題･解答用紙

受験番号		氏名	

関東労災病院 令和 8 年度初期臨床研修医採用試験 筆記試験問題・解答用紙

受験番号		氏名	

第 4 問

1. 四肢骨折が疑われる患者にシーネ固定を行う。患者への説明・疼痛への配慮を含め、固定前に確認すべき神経・血管所見を具体的に記述しなさい。また、固定後にも同様の所見を再度確認すべき理由を記述しなさい。
2. 下腿骨幹部骨折に対してシーネ固定を施行した患者が、数時間後に「鎮痛薬を使用しても改善しない著しい疼痛」を訴えた。以下の問いに答えなさい。
   ① 最も疑われる病名を英語で記述しなさい。
   ② 本病態の発生プロセスを、解剖学的特徴と関連づけて簡潔に記述しなさい。
   ③ 本病態の早期診断において重要な身体診察手技と、その際に認められる所見について具体的に記述しなさい。
   ④ 本病態を疑った際、ベッドサイドで直ちに実施すべき対応と、必要となる緊急手術の名称を記述しなさい。

関東労災病院 令和 8 年度初期臨床研修医採用試験 筆記試験問題･解答用紙

受験番号		氏名	